

# 平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	5	事業名	たかつ区健康福祉まつり事業		
事業所管課	地域保健福祉課		担当者	藤澤	連絡先	044-861-3302	

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	少子高齢化の急速な進行により、高齢者の健康維持、心身障害者の自立など様々な問題が発生しており、これらの問題を地域ぐるみで考え、明るい福祉社会を構築することが求められている。
事業概要	高齢者や子ども、心身障害者の方々を含む多くの区民や団体が交流を深め、健康や福祉を共に考える場を設けることで、地域福祉を推進することを目的として、健康福祉まつりを実行委員会に委託して開催し、健康や福祉に関する団体や施設による、自主製品の販売や健康相談等の各種催しものを実施する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,098,000	予算額(調整後)	1,097,000	決算額	999,259	不用額	97,741
不用の理由	プログラムの工夫により、昨年より少ない出演者で実施できるように努力し、効率的な事業の運営により報償費等の費用の節約に努めたため						
事業目標	高齢者や子ども、心身障害者の方々を含む多くの区民や団体が交流を深める中で、健康への意識の向上、福祉への理解、健康福祉関連団体のネットワークの充実等を図り、前年度と比較し、若年層の参加の10パーセント増を目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	健康福祉まつりの開催により、 ○参加団体の活動の紹介 ○福祉施設自主製品の販売 ○健康相談や体脂肪計測定、育児相談などの各種催し物を実施する。						
事業目標を達成する上での課題等	○展示内容の充実 ○効果的な広報による来場者の拡大						
実績	「たかつ区健康福祉まつり実行委員会」に委託し、平成27年7月11日(土)10時から15時まで、てくのかわさききにて開催し、参加団体の活動の報告・紹介、福祉施設自主製品の販売、健康相談や体脂肪の測定、育児相談などの各種催し物等に1800人が来場した。昨年度に引き続き、東日本大震災復興支援として東北地方の物産販売と募金を実施し、物産販売の利益と募金額を日本赤十字社の東日本大震災義捐金として寄付した。(利益額¥6,254、募金額¥24,910、合計寄付額¥31,164)						
協働の視点	高津区で活動している健康や福祉関連団体とともに、当まつりの企画・運営を行った。						
環境配慮への視点	二酸化炭素排出削減のために来場者にうちわを配布した。ごみの持ち帰りを呼びかけ、ごみの削減を図った。						
取組の成果	東日本大震災の復興支援として物品販売や募金を行い、特に募金額が増加した。昨年度に引き続いて取り入れた、小学生の合唱や子どものフラダンス、かき氷の配布等により、来場者層の幅が広くなり、アンケート調査上、当初目標の若年層の10パーセント以上の増を達成できた。そのことにより、より多くの区民が健康や福祉に触れるきっかけを設けることができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	今後も少子化・高齢化の進展、地域社会における市民の助け合いの重要性向上が見込まれることから、引き続き、実行委員会及び参加団体で構成される企画部会での検討を重ね、協働によって、健康や福祉を共に考える場の提供・参加団体間の交流のさらなる充実を目指していく。東日本大震災被災地復興支援についても、引き続き検討していく。

# 平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	10	事業名	高津区地域包括支援ネットワーク推進事業		
事業所管課	高齢・障害課			担当者	坂尾	連絡先	044-861-3255

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進んで高齢者数が増加する一方、流入人口も多く、一部の高齢者にとっては地域の支えが十分活用できていない。(65歳以上の人口38,530人、高齢化率17.17% H27.10.1現在)。</li> <li>・高齢者の見守り活動の中心的な役割を担ってきた民生委員の高齢化が進むとともに、自治会が組織されない大規模マンションもあり、従来の手法による地域の見守り活動だけではニーズへの対応が困難となっている。</li> <li>・高齢化の進行により、訪問診療や訪問看護等、医療的なケアが必要な在宅高齢者が増加していくことが見込まれるが、介護支援関係者と医療関係者の情報共有は不十分な状況にある。</li> </ul>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 在宅医療（在宅看取り）について区民に周知を図るためのシンポジウムの開催</li> <li>② 認知症サポーター養成講座・フォロー講座の開催</li> <li>③ 高津区高齢者見守りネットワーク事業の、協力団体、協力事業所を対象とした講演会・交流会の開催及び協力事業者の拡充に向けた働きかけ</li> <li>④ 地域ケア連絡会議の開催による高齢者の課題抽出・検討</li> <li>⑤ 高津区高齢者見守りネットワーク事業のリーフレットの作成</li> <li>⑥ 地域の見守り活動等の立上げを行う町内会・自治会の取り組みの支援</li> </ol>

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	653,000円	予算額（調整後）	653,000円	決算額	458,246円	不用額	194,754円
不用の理由	<ol style="list-style-type: none"> <li>① リーフレット作成を見込みよりも安く委託出来た。</li> <li>② 地域の見守り活動の立上げで、1地区は助言者の支援を得ずに進めることが出来、1地区は活動の開始が年度末になったため、平成27年度の報償費の支払が不要となった。</li> </ol>						
事業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 在宅医療（在宅看取り）について知り、人生の最期をどのように迎えるか考えてもらう。</li> <li>② 認知症について正しい知識を身に付け、地域で認知症の人とその家族を支援する活動を始めてもらう。</li> <li>③ 地域で高齢者を見守り、支援が必要な高齢者を早期に支援機関に繋がられるようになる。</li> <li>④ 地域ケア連絡会議で地域課題について話し合うことで、地域のネットワークの構築が図られ、課題の解決に繋がる。</li> <li>⑤ 地域で高齢者を見守る体制について知ることで、見守りの協力の輪が広がる。</li> <li>⑥ 他の地域で行われている見守り活動について知ることで、地域の実情に合った見守り活動に取り組むことが出来る。</li> </ol>						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 在宅医療シンポジウムの開催（1回）</li> <li>② 認知症サポーター養成講座（7回）、認知症サポーターフォロー講座の開催（1回）</li> <li>③ 高津区高齢者見守りネットワーク事業講演会・交流会の開催（高津・橘地区 各1回）</li> <li>④ 地域ケア連絡会議の開催（4回）</li> <li>⑤ 高津区高齢者見守りネットワーク事業のリーフレットの作成（5,000部）</li> <li>⑥ 野川中耕地自治会、下野毛集合住宅での高齢者見守り体制の立上げ支援、高齢者見守り活動事例集の作成</li> </ol>						
事業目標を達成する上での課題等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 在宅医療（在宅看取り）について、どのように普及啓発を図るか。</li> <li>② 認知症サポーターをどのように地域活動に繋げていくか。</li> <li>③ 地域の見守りの目をどのように増やしていくか。</li> <li>④ 地域ケア連絡会議で出された課題を、どのように解決に結び付けていくか。</li> <li>⑤ 見守り活動立ち上げにおけるキーパーソンをどのように把握するか。</li> </ol>						
実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 在宅医療シンポジウム 12月5日 14:00~16:30 高津市民館 151名 晴</li> <li>② 認知症サポーター養成講座  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;区役所・消防署・警察署職員向け&gt; 6月25日 14:45~16:45 高津区役所 26名 曇のち晴</li> <li>&lt;鍼灸マッサージ師会向け&gt; 6月26日 19:30~21:00 てくのかわさき 22名 曇のち雨</li> <li>&lt;親子向け&gt; 7月28日 14:00~15:30 特別養護老人ホームすえなが 28名 曇のち晴</li> <li>&lt;市民向け&gt; 11月14日 14:00~16:00 高津区役所 88名 雨</li> <li>&lt;川崎国道事務所向け&gt; 1月27日 14:00~15:30 川崎国道事務所 15名 晴</li> <li>&lt;東京電力向け&gt; 2月1日 10:00~11:00 東京電力高津営業センター 77名 曇のち雨</li> <li>&lt;高津警察署向け&gt; 2月23日 9:30~10:30 高津警察署 30名 曇のち晴</li> </ul> </li> <li>認知症サポーターフォロー講座 2月27日 14:00~16:00 高津区役所 52名 晴</li> <li>認知症グループホーム施設体験 3月16、19、21日、3施設 6名</li> <li>③ 高齢者見守りネットワーク講演会・交流会  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;高津地区&gt; 9月16日 13:30~16:00 高津区役所 71名 曇のち雨</li> <li>&lt;橘地区&gt; 9月30日 13:30~16:00 橘出張所 57名 晴のち曇</li> </ul> </li> <li>協力事業者の新規加入（神奈川県司法書士会川崎支部、宮前生活環境事業所、㈱ケー・エス・エフ・サービス（㈱明治特約店））</li> <li>④ 地域ケア連絡会議（4月17日、6月19日、11月20日、2月19日 9:30~11:30 高津区役所 構成員 町内会、民生委員、病院MSW、町会見守り活動連絡会、区社会福祉協議会、介護支援専門員連絡会、地域包括支援センター）</li> <li>⑤ 高津区高齢者見守りネットワーク事業のリーフレットの作成</li> <li>⑥ 見守り活動立ち上げ支援  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;野川中耕地&gt; 自治会と話し合いを行い（5月19日、6月14日、7月18日、3月14日）、要支援高齢者を把握し、地図に落とし込んだ。</li> <li>&lt;下野毛公営住宅&gt; 民生委員・老人クラブと話し合いを行った（2月17日）、高齢者見守り活動事例集の作成（3つの活動を取材）</li> </ul> </li> </ol>						

# 平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

協働の視点	<p>① 医師、ケアマネ、ヘルパー、訪問看護師、看取りを経験した家族にシンポジストになってもらい、看取りの実際について話をしてもらった。町会、民生委員、老人クラブ、地区社協、医療関係者、介護関係者に参加を呼び掛けた。</p> <p>② 小・中学校、企業などに認知症サポーター養成講座の開催を呼びかけた。若年性認知症デイサービス、認知症グループホームに認知症サポーターフォロー講座の施設体験を依頼した。</p> <p>③ 地域の方に、気になる高齢者について地域包括支援センターに連絡をしたことで支援に繋がったケースを紹介してもらい、それを受けてどうしたら地域で高齢者を見守る体制が構築できるか話し合いを行った。協力事業者への加入を呼び掛けた。</p> <p>④ 町会、民生委員、病院MSW、町会見守り活動連絡会、区社会福祉協議会、介護支援専門員連絡会、地域包括支援センターを構成員として、高齢者の課題について話し合った。</p> <p>⑤ 地域からの高齢者の見守り体制を立ち上げたいという声に応え、支援を行った。</p>										
環境配慮への視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は再生紙を利用。</li> <li>・イベント開催時には、ゴミの持ち帰りを呼び掛けた。</li> </ul>										
取組の成果	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="316 539 1401 584">① 在宅医療（在宅看取り）の実際について、参加者に伝えることが出来た。</td> <td data-bbox="1401 539 1527 584" style="text-align: center;">達成度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 584 1401 629">② 認知症の知識、認知症の人とその家族を支援する実践例を伝えると共に、地域活動に繋がるきっかけづくりが出来た。</td> <td data-bbox="1401 584 1527 629"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 629 1401 674">③ 支援が必要な高齢者を支援に繋げた実例や地域で見守ることの必要性について伝えることが出来た。</td> <td data-bbox="1401 629 1527 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 674 1401 719">④ 地域団体や専門職などの様々な立場の構成員が話し合いを行うことで、幅広い課題の抽出、意見交換をすることが出来た。</td> <td data-bbox="1401 674 1527 719" style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 719 1401 752">⑤ 地域の高齢者を見守る体制を構築することが出来た。</td> <td data-bbox="1401 719 1527 752"></td> </tr> </table>	① 在宅医療（在宅看取り）の実際について、参加者に伝えることが出来た。	達成度	② 認知症の知識、認知症の人とその家族を支援する実践例を伝えると共に、地域活動に繋がるきっかけづくりが出来た。		③ 支援が必要な高齢者を支援に繋げた実例や地域で見守ることの必要性について伝えることが出来た。		④ 地域団体や専門職などの様々な立場の構成員が話し合いを行うことで、幅広い課題の抽出、意見交換をすることが出来た。	3	⑤ 地域の高齢者を見守る体制を構築することが出来た。	
① 在宅医療（在宅看取り）の実際について、参加者に伝えることが出来た。	達成度										
② 認知症の知識、認知症の人とその家族を支援する実践例を伝えると共に、地域活動に繋がるきっかけづくりが出来た。											
③ 支援が必要な高齢者を支援に繋げた実例や地域で見守ることの必要性について伝えることが出来た。											
④ 地域団体や専門職などの様々な立場の構成員が話し合いを行うことで、幅広い課題の抽出、意見交換をすることが出来た。	3										
⑤ 地域の高齢者を見守る体制を構築することが出来た。											

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>急激な高齢化に対応するために、医療、看護、介護、福祉、生活支援などを含めた必要なケアが、地域において一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が叫ばれているが、そのためには地域住民によるインフォーマルなサービスが不可欠で、希薄化が懸念される地域のつながりを今の時代に合った方法で取り戻し、誰もが互いに助け合う関係であるという認識を共有し、地域による自主的な「助け合い」の活動を活発化させていく必要がある。</p> <p>在宅医療シンポジウムについては、関係者がそれぞれの立場で在宅医療の普及啓発について考え、主体的に取り組んでもらえるように、関係者を交えて企画作りを行う。</p>

# 平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	15	事業名	高津公園体操推進事業		
事業所管課	地域保健福祉課			担当者	竹村・木村	連絡先	044-861-3313

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区の高齢化率は、17.0%と市の平均よりは低いが、要支援以上の高齢者数は17.8%で市の平均の17.6%よりも割合が高い(27年4月1日現在)。平均寿命と健康寿命の差が男性9.1歳、女性12.7歳であり、平均寿命と健康寿命の差を縮小することが、生活の質の向上につながる。また、高津区は転入者が多く、1世帯あたりの平均人員2.1人で、1人暮らしの高齢者も増加している。このため、身近な場所で誰もが簡単にできる高津公園体操を通して介護予防に取り組む人が増えることが望ましく、さらに「閉じこもり予防」「見守り活動」へと通じるようコミュニティの活性化を目指す必要がある。
事業概要	要介護の大きな原因である「生活習慣病」「骨折・転倒」の予防のために「高津公園体操」が作られた。「有酸素運動」「筋力トレーニング」「柔軟体操」の運動の3大要素が組み込まれた15分間の体操で軽快な音楽とテープの声に合わせて、運動が苦手な方、若い方、高齢の方にも無理なく気軽にできる。 ①既存の高津公園体操グループの活動が継続できるように運営支援をする。②高津公園体操を普及啓発し、取り組む地域を増やしていく。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	368,000	予算額(調整後)	369,000	決算額	259,813	不用額	109,187
不用の理由	配当留保(5,000円)及びリーフレット作成委託費が見込額より低額であったため。						
事業目標	「高津公園体操」に取り組むグループを支援し活動を継続維持することや、新たな立ち上げを希望するグループを増やすことで要介護者が増加することを抑制することを目標とする。また、活動を推進することで、「閉じこもり予防」「見守り活動」へと通じるよう各地域のコミュニティの活性化を目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①普及啓発のための講演会等の実施(年1回)、リーフレットの作成 ②公園体操立ち上げのための研修会の実施 ③グループリーダー交流会の実施(年1回) ④既に実施している区民へのフォロー教室の実施(年1回) ⑤CD・カセット・DVDの委託販売⑥保健師によるグループ支援						
事業目標を達成する上での課題等	各公園体操の活動が継続維持され、参加者の健康づくりだけでなく、「見守り活動」やコミュニティの活性化ということを目指すには、地域包括支援センターと連携しながら支援を行っていく必要がある。						
実績	①普及啓発講演会の実施(12月11日、区役所保健ホールにて。参加者22名) いこい元氣広場での地域活動紹介(7か所年3回ずつ、参加者194名) イベント等での普及啓発、リーフレットの配布(3000部)。 リーフレットの作成(委託先:日本プロセス。3,000部) ②新しく立ち上げたい地域、グループへの研修会を5回実施(6月18日・久末宮の谷公園・参加者5名、6月30日・梶ヶ谷第3公園・参加者9名、7月24日・久末道下公園・参加者8名、12月15日・新作八幡宮・参加者25名、3月15日・グランド武蔵新城・参加者20名)。 ③グループリーダー交流会の実施(3月2日、区役所5階会議室にて。参加者23名) ④フォロー教室の実施(10月2日、区役所5階会議室にて。参加者43名) ⑤CD・カセットテープ・DVDの販売(カセット4枚、CD8枚、DVD15枚) ⑥各公園体操のリーダーから地区担当保健師が随時相談を受けながら、グループの継続と活性化にむけて支援した。						
協働の視点	ヘルスパートナー高津や区内の地域包括支援センターと協働して地域へ普及啓発活動を行った。公園での高津公園体操の実践に関しては、町会や老人会とも協働し行った。また、所属団体のないグループのリーダーとも協働し、継続支援を行った。						
環境配慮への視点	公園体操実施前後に、公園の清掃活動を実施しているところがあった。また、講演会等のチラシについては、再生紙を使用した。						
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>高津公園体操を知らない区民が介護予防・健康づくりの必要性について知り、高津公園体操の参加につなげることができた。</li> <li>区民がより身近な地域で公園体操に取り組めるように、新たに4か所で立ち上げることができた。</li> <li>現在、高津公園体操に取り組んでいる区民とリーダーに対して活動の継続にむけた支援を行った。リーダーへは、地域包括ケアシステムの講演を行うなどの支援ができた。</li> <li>グループリーダー交流会では、他のグループと交流することで横のつながりができた。</li> </ul>						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	来年度以降も、普及啓発活動、既に始めている方へのフォロー教室やリーダー交流会を実施する。現在活動しているグループが継続するだけでなく、「見守り活動」やコミュニティの活性化、多世代交流にも取り組めるように働きかける。公園体操以外の健康づくりグループとも交流を図り、互いの活性化を図る。